

令和4年度（2022年度）熊本市勤労青少年ホーム運営委員会 議事録

【開催場所】 書面審議

【発送日時】 令和4年（2022年）12月1日（水）運営委員会資料発送

1. 令和4年度（2022年度）熊本市勤労青少年ホーム運営委員会の成立について
委員7名中7名の審議（書面）をいただいたことから、令和4年度（2022年度）熊本市勤労青少年ホーム運営委員会は成立。

議事1 令和3、4年度熊本市勤労青少年ホーム運営状況について

【審議資料3～7ページ及び統計資料】

意見照会事項

当館が実施した事業に関し、ご意見をお願いします。

※利用人数等については、令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の発生及び拡大により、当館の休館等に伴い、主催講座及び貸館業務を中止としたりしたため、大幅に減少しています。

議事1に対するご意見

・新型コロナウイルスによる影響で休館した令和3年度に比べて令和4年度は、令和元年度の利用件数に近づくものとなっているので、今後の推移を注視してみたい。また、令和4年度の稼働率も令和元年度に近づくものとなってきており評価したい。

・事業一覧（文科系）での講座の減少は利用実態を踏まえたもので、特に問題はないと思われる。今後も利用者の意見を聴取しながら講座を増減することが必要。

・スポーツ系及び文科系のほとんどが、男性が参加しづらい講座となっているように感じる。過去5年間をみても、講座の内容はほとんど変わらず、女性が利用するための施設という認識が根付いているのではないか。

・コロナ禍以前に比べ、活動が制約されるのは仕方ないと思われる。

・令和4年度には少しずつ利用状況も回復してきたが、運営的には厳しいので、コロナ感染拡大していることもあり、貸館も積極的には行なわない方が良いと考える。

・これ迄の中止は致し方ないことだと思われるが、別の熊本市主催のセミナー等では、対面にも関わらず応募が多く一部キャンセル待ちもでる程迄回復している。そろそろ春からの実施に向け準備されてもいいかと思われる。

・長期化する新型コロナウイルス感染症に伴い、主催講座等の中止が続いた一方で、昨年と比べると中止になった期間は減ったように感じた1年であった。（休館した期間）。しかし、新型コロナウイルスが増加しリスクレベルがあがる度に休館が続けばホームの運営にも支障がでるとと思われる。今後も続くであろう新型コロナウイ

ルス感染症の対策をしながら主催講座や単発での講座を中止することなく行っていけるようにしてほしい。

(事務局回答)

今後も利用実態の把握、利用者の意見を聴取しながら講座を増減することが必要と判断しています。過去には男性の利用者もあり、講座の内容も過去の状況と照らし合わせながら計画してきました。今後の利用促進のためにも、参加しやすい講座の検討を行っていきたいと考えます。

議事2 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う開館状況の推移について
【審議資料8～9ページ】

意見照会事項

新型コロナウイルスの感染防止のため、令和2年(2020年)3月以降、感染防止対策を講じ、臨時休館と再開を繰り返し、貸館業務を中心に活動を継続しています。当館の新型コロナウイルス感染症対策について、ご意見をお願いします。

議事2に対するご意見

・スポーツ系の講座で激しい運動を伴うものについては、マスク着用は実質的に無理ではないかと思われる。(呼吸が苦しくなる、マスクがずれて顎マスク状態)。特に、暑い時期は、感染症のリスクより熱中症のリスクの方が高くなる。開講する場合は、マスク着用を義務づけず、感染リスクを重視するのであれば、激しい運動を伴う講座は開講しないなどの方針をとったほうが良いと判断しているが。

・感染症対策については、十分な対応を実施されており問題ない。

・今後、極端な対策は少しずつ緩やかにしていった方がいいと考える。

・現在、手首による検温及び消毒(手指)に簡易化されており、当初よりホームを利用しやすくなった印象を受けた。ただ、サークル活動にて講習室を利用させて頂く時に感じた事は利用時に消毒用の道具を渡されるが、毎回、机を消毒するために拭くととても汚れていたこともあり、常に感染症対策の消毒が徹底されているのか疑問に思うことがあった。

(事務局回答)

・新型コロナウイルス感染状況を確認しながら、講座の開設を検討し対応している状況にあります。現在、激しい運動を伴う講座は現時点では開設していません。もちろん、コロナの状況がひどくなれば、講座の休止なども行ってまいります。

・施設の清掃等、衛生管理には一層注意を払って行きます。

議事3 運営の課題と今後の方針について

【審議資料10～11ページ】

意見照会事項

運営の課題と今後の方針に関して、ご意見をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う臨時休館及び感染防止対策のため、中止となる可能性もあります。

議事3に対するご意見

・青少年の利用減少については書いてあることがすべてであり、時代の流れとも言える。認知度不足があることは確かなので今後ともPRに努力して頂きたい。

・利用者ニーズとのミスマッチについては、文化系講座の定員割れは時代の流れと他の場所で受講する機会が多いのでやむを得ないと思われる。そのため、他の公民館や施設での文科系講座の実態を把握してニーズの多い講座を取り入れるなどの工夫が必要かと思われる。なお、【今後の方針】文科系講座の充実強化については、その通りであり、その方針でやって頂きたい。

課題1.2.3については、記載してある通りであり問題はない。

・勤労青少年ホームの事業の積極的発信について、すでに実施されているかもしれないが、高校や大学の卒業生に向けた広報や成人式等の若者が集まるイベントでの周知・広報は効果的ではないか。

・設備投資は課題と思われるが、若者に人気の高いeスポーツやオンラインゲーム、メタバース等の体験講座等を検討してはどうか。

・資料にある通り、この勤労青少年ホームでたくさんの催しが行われていることを知らない人が多いと思うので、情報発信をし、誘致を第一に行っていくのが良いと考える。

・運営の課題、良く考えられている。コロナ禍では何をしても残念だと考える。

・現在迄行われている講座は以前より開催している講座と同じものが行われている印象を受けている。リピーターは、多いのかもしれないが、新規の利用者が増えているのかは疑問に感じている。今後、如何にして新規の講座生を増やすのか、現在、利用しているサークル活動等も人数が減らないように宣伝などを更にして欲しいと思う。

(事務局回答)

コロナ禍の状況を鑑みながら、講座の内容、広報媒体及び手段についても今後の状況を見ながら検討してまいります。

議事4 その他について

※その他、全般的にご意見等ございましたら、ご記入くださいますようお願いいたします。

・勤労青少年福祉法等の一部を改正する法律によって、勤労青少年ホームの位置付けが「地方公共団体は、必要に応じ、勤労青少年ホームを設置するように努めなければならない。」との規定が（新法）青少年の雇用の促進等に関する法律では削除されたということであるが、熊本市では「熊本市勤労青少年ホーム条例」が設置根拠となっているので存続することになったのは、将来的にはわからないとは言え、喜ばしいことである。勤労青少年ホームの関係者の皆様には今後とも運営に努力して頂きたい。

・広報活動については11・12ページに書かれている内容で良い。なお、一般向けPRはもちろんです。企業向けに「あなたは勤労青少年ホームの活動について知っていますか」などのタイトルで存在を知ってもらうことも必要。

・2ページの勤労青少年ホーム当初予算の推移については、当該年度と他年度との比較の簡単なコメントがあればわかりやすいと思われる。

・早く元のホームに戻るように願っている。

・新型コロナウイルス感染症の流行りの中で仕方がないかもしれないが、以前よりもホーム職員との会話が少なく、声をかけづらいときがあると利用して感じていいる。その一方で閉館せず運営して頂いていることには感謝している。今後も利用しやすいホーム運営をお願いしたい。

（事務局回答）

上記ご意見などを踏まえて、今後とも運営に努力して行きます。なお、ホーム職員もなるべく利用者様との会話の機会を多く持ちたいと思っておりますので、職員には気兼ねなくお声掛け頂きますようお願いいたします。